

○ 取得した財産の種類、細目、利用区分・銘柄等の記載要領

種 類	細 目		利 用 区 分 ・ 銘 柄 等	
土 地 （土地の上に 存する権利を 含みます。）	田		自用地、貸付地、賃借権（耕作権）、永小作権の別	
	畑			
	宅地		自用地、貸宅地、貸家建付地、借地権、居住建物 <sup>(注1)</sup> の敷地の用に 供される土地などの別	
	山林		普通山林、保安林の別（これらの山林の地上権又は賃借権である ときは、その旨）	
	その他の土地		原野、牧場、池沼、鉱泉地、雑種地の別（これらの土地の地上権、 賃借権、温泉権又は引湯権であるときは、その旨）	
家 屋	家屋（構造及び用途）、構築物		家屋については自家用家屋、貸家、居住建物 <sup>(注1)</sup> の別、構築物につ いては駐車場、養魚池、広告塔などの別	
事 業(農 業) 用財産	機械、器具、農機具、その他の 減価償却資産		機械、器具、農機具、自動車、船舶などについてはその名称と年式、 牛馬等についてはその用途と年齢、果樹についてはその樹種と樹齢、 営業権についてはその事業の種目と商号など	
	商品、製品、半製品、原材料、 農産物等		商品、製品、半製品、原材料、農産物等の別に、その合計額を「財 産の価額」欄に記入し、それらの明細は、適宜の用紙に記載して 添付してください。	
	売掛金			
	その他の財産		電話加入権、受取手形、その他その財産の名称	
有 価 証 券	株式、 出資	上場株式等		その銘柄
		取引相場 のない株 式、出資	配当還元 方式によ ったもの	
			その他の 方式によ ったもの	
	公債、社債			
	証券投資信託、貸付信託の受益 証券			
現金、預貯金等			現金、普通預金、当座預金、定期預金、通常貯金、定額貯金、定 期積金、金銭信託などの別及び贈与の目的	
家庭用財産			その名称と銘柄	
その他の財産 (利益)	生命保険金等			
	立木		その樹種と樹齢（保安林であるときは、その旨）	
	その他		1 事業に関係ない自動車、特許権、著作権、貸付金、書画・骨 とうなどの別 2 自動車についてはその名称と年式、書画・骨とうなどについ てはその名称と作者名など 3 著しく低い価額の対価で財産を譲り受けた場合など贈与によ って取得したものとみなされる財産（生命保険金等を除きます。） については、その財産（利益）の内容 4 教育資金残額、結婚・子育て資金残額 <sup>(注2)</sup> の別	

(注)1 「居住建物」とは、配偶者居住権の目的となっている建物をいいます。

2 「教育資金残額」とは、租税特別措置法第70条の2の2第17項（直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税）に規定する残額をいい、「結婚・子育て資金残額」とは、同法第70条の2の3第14項（直系尊属から結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税）に規定する残額をいいます。

(参考) 「取引相場のない株式、出資」の「細目」欄への記載については、例えば、「株式 配当還元方式」や「出資 その他の方式」と記載していただいて差し支えありません。